



木ト霊 ことだま

大島康幸 黒須信雄 小島敏男 田邊正樹 若宮綾子

2018年3月24日（土） - 4月8日（日）

12:00-19:00（最終日 17:00 迄）月曜日・火曜日休廊

Opening reception 3/24（土） 17:00-19:00

このたび木彫による企画展「木ト霊 ことだま」を3/24（土）より4/8（日）まで開催致します。

石や金属など彫刻の素材はさまざまですが、いずれも素材としての物質の選択が表現の内実を決すると云ってよいほどの深い結びつきがあります。なかでも木と云う素材は有機体として生命を保っていたものです。その意味では、伐採され加工された木材は一種の仮死状態にあるとも云えます。ならば木彫とは、その再生、木材の内奥に潜む命（霊）を彫り起こすことでもあるでしょう。彫ることによる呼びかけとそれに対する木材からの答えは恰も木霊の如くです。これは木と人との出会いであり、こと（事、言）の発生であります。いにしえ日本では事と言は峻別されておらず、どちらもコトダマの働きを伴うものでした。

本展は、それぞれ異なる独自の思考と表現を持つ出品作家の各様の表現に、木を彫ると云う〈こと〉がどのように通底しているかを探るものです。それはまた、事と言が分離する以前の感性への呼びかけでもあります。

—Gallery 惺 SATORU

木霊 —こだま—

柿の木を彫っている。

群馬の実家に生えていたのだが根腐れしてしまい30年ほど前に親父が伐採したものだ。太い幹だけ残して裏の物置の壁に縛り付けてあった。長さ2メートル、直径15センチ足らずの丸太だったが小さなこぎりで挽こうとしたのだろう、切り口付近には鋸の激闘の跡が残っている。最終的には無理矢理折ったようだ。不器用な親父らしいと思った。

この柿は渋柿だったが毎年沢山の実をつけ「樽抜き」と呼ばれる焼酎で渋みを抜いたものは実家では恒例の秋の味覚だった。物置で長年無造作に放置されていたため芯から表皮に向かって長い縦割れが入っており、その時点では使い物にならないと思っていたがなんとなく気になったので物置の片付けついでに横浜のアトリエに持ってきていた。ちょうど折も折、頼まれていた干支の彫刻の材料を探していたところ目にとまったのがこの柿だ。通常は材料の詳しい素性などわかりようもないのだが、夏に生い茂る新緑の葉、秋にはたわわに実る柿の朱、様々な記憶が思い起こされた。

今回の出品作品を何にしようかと思案していた矢先、展覧会のテーマが「木霊」（後に「木ト霊に変更）」と知り、制作途中で放置してあったこの柿の木の作品を仕上げることにした。この柿の木を選んだことは単なる偶然かもしれないが、この木を選んだことでこの形になったことは確かである。新しいかたちとなって生まれ変わった柿の木はなりたいかたちになっているだろうか？

私は木霊(魂)の声を聞けていただろうか？

大島康幸



「鴉」木彫・柿 60 x 15 x 15 (cm) 2016

【大島康幸 略歴】

- 1962 前橋生まれ
- 1986 東京造形大学造形学部彫刻科卒業
- 1988 多摩美術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 2014～ 横浜美術大学彫刻科非常勤講師
- 2014～16 東北芸術工科大学彫刻コース非常勤講師
- 2017～ 東北芸術工科大学彫刻コース特別講師

【個展】

- 1990 ルナミ画廊、東京
- 1991 ギャラリー伝、東京（以後96）
- 1992 ギャラリーK、東京（以後94, 97）
- 1993 日本橋高島屋、東京
- 2003 アトリエ・ジム、東京（以後04, 05, 07）
- 2004 横浜みなと町ギャラリー、神奈川
- 2008 日本橋三越、東京
- 2010 E&C ギャラリー、福井
- 2017 ギャラリー椿、東京

【グループ展】

- 2009 「彫刻って何？」新宿高島屋、東京
- 2011 「宇野亜喜良がコンタクトした異能のアーティストたち」ビリケンギャラリー、東京
「美術館は動物園」小杉放庵記念日光美術館、栃木
- 2013 「Resonance」盛田画廊、東京（以後15）
- 2017 「前橋の美術2017」アーツ前橋、群馬
「アートフェア台北2017」台湾
「六つの交差」横浜赤レンガ倉庫1号棟2階、神奈川
- 2018 「Seoul International Art Expo 2018」韓国

【収蔵】横浜美術館



「虚齋 96」木彫・杉 9.5x9.5x36.5cm 2017

私の木彫は彫刻ではなく絵画に出自が在る。時として統合體たる絵画が或種の飽和によって外部への分節を要請することがあるものだが、私の場合たまさか木版画と云う反転がそれに即応した。木版画の反転は版木を彫ることとそれを紙に刷ることの二重性を孕むけれども、版木から紙への反転を全く別の方向、乃ち立體物へと轉換したらどうなるか、その試みから〈顕れた〉のが私の木彫作品である。当然ながら、それは虚から実への轉換ではない。絵画が存在論的遡行意志に基づく存在形式轉換としての顕現である以上、その分節に実が在るとするなら、専ら虚としての実のみである。私にとって重要なのは、かたちを彫り出す若しくは生み出すと云う能動的営為ではなく、木彫作品なるものが畢竟彫ると云う行為そのものには直接関与しない、謂わば彫り遣しだと云う営為の不在なのである。絵画は営為として虚の拡汎に結ばれるが、實體を有する木彫は営為不在に於て虚を凝集するのである。

黒須信雄

【黒須信雄 略歴】

1962 東京生まれ
1988 多摩美術大学絵画科油画専攻卒業

【個展】

1989 なびす画廊 (東京)
1990 なびす画廊 (東京)
1991 Cafe アトリエ (東京)
Gallery+1 (東京)
1992 なびす画廊 (東京)
西瓜糖 (東京)
Cafe アトリエ (東京)
1993 ルナミ画廊 (東京)
Cafe アトリエ (東京)
1994 なびす画廊 (東京)
1995 ギャラリーU (東京)
1996 藍画廊 (東京)
1997 藍画廊 (東京)
1998 なびす画廊 (東京)
1999 なびす画廊 (東京)
西瓜糖 (東京)
2000 なびす画廊 (東京)
2002 なびす画廊 (東京)
2003 なびす画廊 (東京)
2005 なびす画廊 (東京)
2006 藍画廊 (東京)
2007 なびす画廊 (東京)
2009 なびす画廊 (東京)
2011 なびす画廊 (東京)
2013 なびす画廊 (東京)
2015 なびす画廊 (東京)
2017 ギャラリー水・土・木 (東京)
ギャラリー宮脇 (京都)

【グループ展】

1986 空房月華 (小野画廊)
1987 ……のしっぽ (世田谷美術館区民ギャラリー)
1990 箱—さまざまな時—展 (二宮美術館)
MITO 10月展 (水戸芸術館)
1992 鳥 (バード) 展 (北とぴあ)
1993 COLLABORATION 展 (淡路町画廊)
1996 起源 (Za Gallery)
1999 TEN (藍画廊)
牧神アンデパンダン (牧神画廊)
2001 2月のおくりもの (なびす画廊)
2002 美と術 (藍画廊)
2004 2月のおくりもの (なびす画廊)
黒須信雄・橋本倫展 (ギャラリー エンドウ)
2005 生誕100年オマージュ長谷川沼田居展 (足利市立美術館)
第20回平行芸術展 崩落の記譜法 (青山小原流会館 エスパス OHARA)
2006 New Year's Card by Japan Artists (Beograd/Senta/Sokobanja)

2008 RADICAL CROPS プレ展 (exhibit Live&Moris)
DE MISTICA〜召命〜 (ギャラリー・アートポイント)
第27回損保ジャパン美術財団選抜奨励展
(損保ジャパン東郷青児美術館)
絵画のコスモロジー／橋本倫・黒須信雄・小山利枝子 (多摩美術大学美術館)
京橋3-3-8 (藍画廊)
2009 DE MISTICA 第2回展—“アート”全盛期における“美術”(なびす画廊)
THE LIBRARY〜「本」になった美術〜 (静岡アートギャラリー)
2010 カイガノカイキ (足利市立美術館)
THE LIBRARY ASHIKAGA (足利市立美術館)
2012 Resonance2012 ~黒須信雄・土屋範人・星川忠資~ (森田画廊)
虚光集 (ひのみかげふみ) 江尻潔・黒須信雄展
(ギャラリー水・土・木—みず・と・き—)
2013 新収蔵作品展「現代の絵画と彫刻」(足利市立美術館)
版画天国 (なびす画廊)
美術館の本棚 (足利市立美術館 特別展示室)
ANDO SESSION4 色の力 (ギャラリー エンドウ)
「根の国」展 (アートスタジオ Dungeon)
2014 記録魔 関根正幸のお蔵出し (アートスタジオ Dungeon)
版画天国 II (なびす画廊)
知ってる形／知らない形+本 (うらわ美術館)
スサノヲの到来—いのち、いかり、いのり (~2015年巡回/
足利市立美術館、DIC 川村記念美術館、北海道立函館美術館、
山寺芭蕉記念館、渋谷区立松濤美術館)
一陽来復〜年送りのかたち年始めのかたち~ (Gallery 惺 SATORU)
2015 つくもがみ (アートスタジオ Dungeon)
Resonance2015 Final ~響きあう9人~ (森田画廊)
寄り添うかたち'15 (ギャラリー水・土・木)
暮の宴—年送り年迎えのかたち (Gallery 惺 SATORU)
2016 連画のいざない (足利市立美術館 特別展示室)
ART OSAKA 2016 ギャラリー宮脇出展 (ホテルグランヴィア大阪 26F)
版画天国 III (なびす画廊)
90's 展 終末と反復 (+Y ギャラリー)
寄り添うかたち'16 (ギャラリー 水・土・木)
キネティックアート展 (ギャラリー エンドウ)
晦日 (アートスタジオ Dungeon)
2017 紙の上の思考IV Thoughts through Drawings—POINT
(Gallery 惺 SATORU)
版画、いろいろ 博物館のコレクション 明治>>>現在
(那須野が原博物館)
ART NAGOYA 2017 +Y ギャラリー出展
(ウェスティン ナゴヤ キャッスル 9F)
コレクション展IV 明治調 (栃木県立美術館)
うたげと孤心 連画のいざない II (アートスタジオ Dungeon)
「なびす画廊最後の十日」展 (なびす画廊)
言絵言—ことええこと— (柴田悦子画廊)
寄り添うかたち'17 (ギャラリー 水・土・木)
「旅する」展 (Gallery 惺 SATORU)

【コレクション】

足利市立美術館 うらわ美術館 栃木県立美術館 那須野が原博物館 他



「無題」しな材 H760×W350×D300 mm 2014年

私の作品は直彫りによる木彫です。塊である材を彫り込みながら形態を探していく、粘土のように付け足していくのではなく、取り除いていく制作方法に拘っています。

出品作は、二つの葉のモチーフをそれぞれ正面性を持つレリーフ状に、二つの正面が持つ視線が交差するように彫り進めたものです。交差が視線の振じれを誘い、そこに新たな空間が作品を見る人の前に立ち現われます。

【小島敏男略歴】

- 1957 名古屋市生まれ
- 1959 群馬県太田市に転居
- 1979 武蔵野美術大学短期大学部美術科油絵専攻卒業
- 1981 同校専攻科美術専攻修了
- 1990 Mirrahkir Foundation の招きでパリに滞在
- 1993 Mirrahkir Foundation の招きでパリに滞在

【個展】

1983 楡の木画廊 (東京/銀座)	2003 なるせ美術座 (東京/町田市)
1985 ルナミ画廊 (88年まで開催) (東京/銀座)	2003 ギャラリー La Mer (東京/銀座)
1985 Gアートギャラリー (東京/銀座)	2004 ギャラリー 檜 (東京/銀座)
1986 インディペンデントギャラリー (東京/銀座)	2005 Gallery 覚 (東京/銀座)
1988 ギャラリー+1 (東京/銀座)	2005 松明堂ギャラリー (東京/小平市)
1988 埼玉県立近代美術館 (埼玉県/さいたま市)	2006 コート・ギャラリー国立 (東京/国立)
1990 Garden of the Zodiac (オマハ/ネブラスカ/USA)	2007 マキイマサルファインアーツ (東京/浅草橋)
1993 ギャラリー 檜 (94年も開催) (東京/銀座)	2009 ギャラリー 檜 (東京/銀座)
1996 ギャラリー 檜 (01年まで毎年開催) (東京/銀座)	2012 a piece of space APS (東京/銀座)
2002 Gallery 覚 (03年も開催) (東京/銀座)	

主なグループ展

1982 2人展 (前島芳隆と) (楡の木画廊/東京)	2001 美術座 2001α (なるせ美術座/町田市/東京)
1983 北関東美術展 (栃木県立美術館/宇都宮市)	2001 七つの顔展 (02年も開催) (ギャラリー La Mer/東京)
1984 ZONZAI 展 (85年も開催) (Gアートギャラリー)	2002 QUARTET (スペース游/相模原市)
1984 3人展 (前島芳隆、片貝達と) (Gアートギャラリー)	2002 十字星セレクト展 (Gallery & Café 十字星/相模原市)
1985 2人展 (佐藤真紀と) (パレルゴンII/東京)	2002 第十七回平行芸術展 (エスパス OHARA/東京)
1987 現代美術の祭典 立体部門最優秀賞 第10回記念賞 (埼玉県立近代美術館/さいたま市)	2007 生きることの美術 (room2330/東京)
1988 アウトワードバウンド/企画、出品 (東京都美術館/上野公園)	2007 盆景-my favorite garden (a piece of space APS /東京)
1990 From Installation to Drawing (ルナミ画廊/東京)	2008 distance (高橋 関夫と) (ギャラリー 檜/東京)
1991 日仏会館ポスター原画コンクール入賞者発表展 (Bunkamura Gallery/東京)	2009 連続個展形式の二人展 (高橋 関夫と) (ゆーじん画廊/東京)
1993 Drawings (98年まで毎年開催) (ギャラリー 宏地/東京)	2009 親子四人展 (楽風/さいたま市)
1994 他者のまなざし展 (臨江閣/前橋市)	2011 檜アートフェア (ギャラリー 檜/東京)
1994 Angelus Novus (Galerie Hafemann/ヴィースバーデン/ドイツ)	2012 Drawings: 2012-20年目の邂逅 (SPC GALLERY/東京)
1998 distance (高橋 関夫と) (ギャラリー 檜/東京)	2012 Still Autumn (マキイマサルファインアーツ/東京)
1999 版による gyarari (ギャラリー 檜/東京)	2013 face to face (石塚雅子、岩尾恵都子と) (ギャラリー・カメリア+a piece of space APS /東京)
1999 現代美術四人展 (ぎゃらりーヴィンチ/太田市/群馬県)	2016 distance (高橋 関夫と) (ギャラリー 檜/東京)
2000 版画展 (ギャラリー La Mer/東京)	2017 Conversing with Nature (FRISE - Künstlerhaus Hamburg/ハンブルグ)



色とかたちや線により絵はイリュージョンとして成りたっているのですが、私は空に投げ出したものを縫(よ)りながら、紡いでいる様な気がします。

「Untitled」イチョウ 17×16×16 cm 2017

【田邊正樹略歴】

1950 年生まれ

[個展]

- 1976 サトウ画廊
- 1987 柳沢画廊 (～'12、'16)
- 1990 櫟画廊(～'15、'18)
- 1988 なびす画廊
- 2005 f 分の 1 ('09、'14)
- 2007 夢の庭画廊('11)
- 2013 グルグルハウス高柳

[グループ展]

- 1992 「現代日本木刻フェスティバル('94)
- 1994 「新潟市野外彫刻大賞マケット 100 展
- 1998 「KAJIMA 彫刻コンクールマケット入選
- 2016 「AIR MAIL(ベルファスト/ミラノ)
- 2017 「干」(柳沢画廊/浦和)
- 「ing NOW」(うらわ美術館/浦和)

【若宮 綾子 Ayako WAKAMIYA】



制作について

身近な場所ですりに入るシナベニヤや角材を使用し、生活用品の形をモチーフとして家庭という小さな集合体から社会を考えています。暗雲としたでも淡々と生活する家族や人々の儚くも遅しい佇まいほど「美しい」のではないかと気づいた今、私に出来ることは木片をただ彫り続ける事ではないかと感じています。

「Untitled」シナベニヤ、パステル 40×180×25mm 2017

【若宮綾子 略歴】

- 1966 神奈川県横浜生まれ
- 1989 女子美術大学芸術学部洋画科油絵専攻卒
- 1990 女子美術大学芸術学部研究課程修了

〔個展〕

- 1993 藍画廊／東京（'95, '96, '97, '98, '99, '00, '01, '02, '05）
西瓜糖／東京（'95, '00, '03）
- 2003 ギャラリーGAN／東京
- 2004 GALERIE SOL／東京
- 2005 GALERIE SOL／東京
- 2006 「にくと骨と皮膚と夏休み」藍画廊／東京
- 2007 「軸をさがして」藍画廊／東京
「咀嚼して」トキ・アートスペース／東京
- 2008 「home position」藍画廊／東京
- 2009 「居間」GALERIE SOL／東京
- 2010 「ただいま」藍画廊／東京
- 2011 「うつわ」igalleryDC／山梨県石和
- 2012 「居間Ⅱ」藍画廊／東京
- 2014 「居間Ⅲ」藍画廊／東京
「wonder wall」swllkitchen／東京
- 2015 「居間Ⅴ」
「wonder wall」swllkitchen／東京
- 2017 「陶展」○△ギャラリー／神奈川県藤野
- 2018 「居間Ⅵ」藍画廊／東京

〔グループ展〕

- 1988 「二人展」アートスペースコア／東京
- 1989 大倉山記念館／横浜市
- 1991 「インディペンデント展」パルテノン多摩／東京
- 2000 「美」と「術」藍画廊／東京
- 2002 「TEN展」藍画廊／東京
- 2003 「菜展、菜点」藍画廊／東京、仙台市商店街／仙台
- 2004 「TRACE展」GALERIE SOL／東京
「ART シャワー横浜」横浜市民ギャラリー／横浜
- 2006 「アーティストたちの年賀状」galerijaSKC／ベオグラード・セルビア
- 2007 「アーティストたちの年賀状・セルビアはいかがでしたか？」トキ・アートスペース、現代 HEIGHTS Gallery Den／東京
「DEBURI プロジェクト」ギャラリーールデコ／東京
- 2008 「京橋3-3-8」藍画廊／東京
- 2009 「Maquette#2」GALERIE SOL／東京
- 2010 「トリコロール」ときのわすれ物／東京
「新時代の視点、小品展」gallery なつか／東京
「DC1」igalleryDC／山梨県石和
- 2013 「コレクション展」ときのわすれ物／東京
- 2015 「inner history」藍画廊／東京
- 2016 「スキマに想う」夏庭ギャラリー／千葉県茂原
「wonder wall 2人展」swllkitchen／東京
- 2017 「奇跡の庭」藍画廊／東京